

令和6年度福祉現場における事業継続計画(BCP)運用研修 実施要項 ～いざという時に活用できるBCPの改善ポイント～

1 目 的	<p>介護施設や障害福祉サービス事業所等においては、災害発生時の事業継続に向けた計画（BCP）等の策定が令和6年4月より義務化され、すべての事業所でBCPが策定済と思われます。また、児童福祉施設等においても、令和5年4月より計画の策定が努力義務化されております。しかし、社会福祉施設・事業所等におけるBCPでは、変化し続ける多様な要因を考慮し、いつでも運用可能なように見直していくことが策定と同様に重要です。</p> <p>本研修では、災害や感染症などの危機事象の理解を深め、各事業所等が策定したBCPが必要時に運用できる内容であるか点検する視点を学ぶことを目的に開催します。</p>
2 研修形態	集合型研修 ※研修日程のとおり
3 開催日時	令和6年11月14日（木） 9：50～16：00（5時間） ※受付開始は9：20～
4 開催場所	セキショウ・ウェルビーイング福祉会館4階 大研修室 （水戸市千波町1918）
5 対象者	社会福祉施設・事業所等に勤務する役職員等 【定員】96名 ※定員になり次第、申込期限前でも締め切らせていただきます。（先着順）
6 受講料等	県社協会員1人あたり 3,000円（税込・資料代を含む） 県社協非会員1人あたり 5,000円（税込・資料代を含む） ※申込締切後、請求書をメールでお送りしますので、振込期限までに必ずお振込みください。
7 申込方法	研修システムにより、お申込ください。 ※申込された方は、申込締め切り後「承認通知」をメールで送付します。
8 申込期間	令和6年9月18日（水）～令和6年10月21日（月）まで
9 留意事項	<p>① 修了証の氏名は受講申込者となりますので、受講者を変更する場合は、研修システムで変更してください。</p> <p>② 申込締切後のキャンセルについては、「社会福祉事業従事者研修受講料に関するポリシーについて」をご確認ください。（代理の方の出席をお勧めします。）</p> <p>③ 受講申込みに記載された個人情報、当該研修の運営管理の目的にのみ使用いたします。</p> <p>④ 開催方法などの変更・中止等は、研修システムページに掲載します。 ⇒掲載場所⇒茨城県社会福祉協議会研修システムページ (https://www.ibaraki-kenshu.jp/kenshu_user/) 茨城県社会福祉協議会トップページからシステムページに入れます。</p> <p>⑤ 資料データの著作権は、研修講師にあります。録画・録音・撮影、資料等の無断転用は固くお断りいたします。万が一これらの行為が発覚した場合、著作権および肖像権侵害で対処させていただくことがございます。</p> <p>⑥ 昼食は自身でご用意ください。研修室内での飲食は可能です。</p>
10 修了証	受講者は、研修アンケートを期限までに提出してください。 アンケート提出後、「研修システムマニュアル Ver.10」のp32もしくは「研修アンケートの提出方法」を参照のうえ、修了証をダウンロードしてください。
11 問合せ先	社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部（仲田・大谷） TEL：029-244-3755 E-MAIL：kenshu@ibaraki-welfare.or.jp

研 修 日 程

【集合研修】 11月14日（木）

日 時	研修科目等	ねらい
9:20～ 9:50 9:50～10:00	受 付 開講／挨拶・オリエンテーション	
10:00～12:00	講義・演習 「BCPの基本理解」 ・BCPと防災計画の違い ・策定したBCPの課題を抽出する方法 「模擬訓練」 ・災害を想定した模擬訓練 ・緊急時に集まってきた情報に関する指示・決定演習	福祉施設・事業所等おけるBCPについて理解する。 災害を想定した模擬訓練により、自施設のBCPのウィークポイントを発見する。 実効性の高いBCPに向け、改善のポイントを学ぶ。
12:00～13:00	昼食・休憩	
13:00～16:00	－午前中の続き－ 「訓練から考える自施設の課題」 ・模擬訓練で見出した課題 ・課題解決に向けたBCP整理のポイント 「自施設のBCPの改善」 ・改善課題をどのようにクリアするか ・自施設で行うBCPのPDCAサイクル 「まとめ」	
16:00	閉 講	

※プログラム等は、変更する場合がありますので、予めご了承ください。

【講 師】

株式会社フォーサイトコンサルティング 代表取締役 浅野 睦 氏
(一般財団法人リスクマネジメント協会理事)

リスクマネジメント・危機管理を専門とする経営コンサルタント。

大手流通業本部勤務から米国系金融機関を経て、1996年に開業。

リスク全般、危機管理、事故防止、コンプライアンス、BCP等を中心に、各組織のリスクマネジメント体制づくり、リスクマネジメント委員会運営、調査、リスク分析・評価、アセスメント及び研修、講演活動を行う。

今まで関わったリスク案件数（調査・評価・研修等）は、3000件以上。

東京都福祉サービス第三者評価制度設計に関わり現在に至る。

厚生労働省・各自治体指導官担当研修（リスクマネジメント・コンプライアンスに関わる指導・監査の方法）

横浜市主催・保育園長向け研修講師・直近6年（リスクマネジメントほか）

保育士等キャリアアップ研修講師（栃木県・群馬県・千葉県・埼玉県ほか）

主な著書

『得意先管理・与信管理の実務』（日本実業出版社）

『写真でわかる臨床看護技術』共著（インターメディカ社）

『現場担当者が考えるべき68のリスク』共著（新建新聞社）

『BCPの実効性を高める災害対応シミュレーション』（日本医療企画） など多数

【配布資料と研修後のアンケート提出】

配布資料	研修資料は当日配布します。 ※他者へ資料を転送しないようにお願いします。
アンケート (レポート)	<u>受講した職員 ID とパスワードで研修システムにログインし、回答してください。「研修システムマニュアル Ver.10」の p32 もしくは「研修アンケートの提出方法」を参照してください。</u> 修了証を希望する方は、11月25日（月）までに、アンケートの提出をお願いします。それ以降は、修了証の発行ができませんので予めご了承ください。